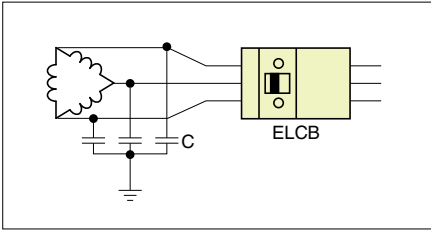


非接地電路への適用【漏電遮断器】

非接地電路を採用するのは、化学工場のよう  
に地絡電流が発火源となって爆発性ガス  
に点火し大きな爆発事故を誘発する恐れが  
あるとか、湿潤した場所で電気機械器具を  
使用する場合は、地絡電流を小さく抑制し  
安全を重視したい場合等であります。  
このような非接地回路に漏電遮断器を設置  
する場合、極力非接地方式のメリットをい  
かすよう地絡電流を小さくする必要があります。

■三相の場合(△結線)

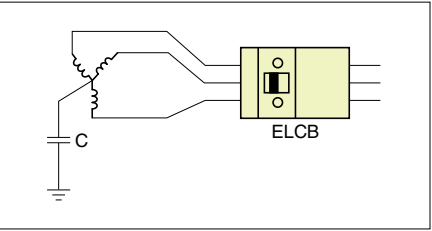
コンデンサC =  $\frac{I \times \alpha}{\sqrt{3} \times 2 \pi f \times V}$  [F]



一般的には、なるべく高感度の漏電遮断器  
を採用し、その定格感度電流の2倍程度の  
地絡電流が一線地絡時に流れるよう安全率  
をみて漏電遮断器の電源側を接地補償用の  
コンデンサ又は、高抵抗で接地します。  
(機能接地)  
一線が地絡した時に設置している漏電遮断  
器が、地絡電流を検出し確実に動作する方  
法です。

■三相の場合(＼結線)

コンデンサC =  $\frac{\sqrt{3} \times I \times \alpha}{2 \pi f \times V}$  [F]

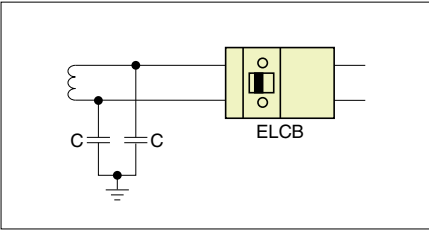


接地補償用に使用するコンデンサは、線間  
電圧以上の耐圧のもので、極性のないもの  
を使用してください。

V : 電路電圧 (V)  
I : 感度電流 (A)  
f : 周波数 (Hz)  
α : 安全率 (2倍程度)

■单相の場合

コンデンサC =  $\frac{I \times \alpha}{2 \pi f \times V}$  [F]



回路方式【漏電遮断器】

●漏電遮断器は回路電圧、回路方式により選定しますが漏電遮断器には漏電検出装  
置を働かせる適正な電圧が必要ですので、定格電圧の選定にはご注意ください。

| 回路方式               | 2極 | 3極 | 4極 |
|--------------------|----|----|----|
| 单相2線式<br>100V、200V |    |    |    |
| 单相3線式<br>100V、200V |    |    |    |
| 三相3線式<br>200V      |    |    |    |
| 三相3線式<br>415V      |    |    |    |
| 三相4線式<br>415V、240V |    |    |    |

B

配線用遮断器

漏電遮断器

配線用遮断器 漏電遮断器 オプション 資料

内部付属装置 内部付属装置取付仕様

外部付属装置

電動機分岐回路用漏電遮断器 時延形漏電遮断器

資料